

平成21年度

新潟大学歯学部同窓会・総会
学 術 講 演 会

**「歯周疾患と冠動脈心疾患の関連
— 因果か相関か —」**

講師：

新潟大学超域研究機構歯周 — 全身プロジェクト
歯学部口腔生命福祉学科

山崎 和久 教授

日時：平成21年 4 月18日(土)

午後 2 時40分から 4 時10分まで

場所：新潟大学歯学部講堂（2階）

- ・生涯研修カードをご持参ください
- ・会費は無料です

主催：新潟大学歯学部同窓会

●講演要旨●

「歯周疾患と冠動脈心疾患の関連—因果か相関か—」

新潟大学超域研究機構歯周—全身プロジェクト
歯学部口腔生命福祉学科

山崎 和久

歯周疾患の発症・進行・治療の予後が全身疾患の有無や、生活習慣に影響を受けることは多くの報告により明らかになっており、糖尿病などの生活習慣病が重度歯周疾患のリスク因子になることが明らかにされてきています。一方、歯周疾患が全身疾患と関連するという疫学調査の報告が増えています。中でも冠動脈疾患（狭心症、心筋梗塞）や糖尿病との関連は、それら疾患の患者数の多さ、QOLへの影響、医療費の高さからとりわけ注目されています。

歯周病と全身疾患の関連についてのメカニズムは、①歯周病原細菌や細菌産生物の直接作用、②細菌の感染により歯周炎の局所で産生された炎症物質による作用、③歯周病原細菌に対する免疫応答の交叉反応性、などが考えられていますが、詳細な解明はこれからです。歯周病が全身に及ぼす影響を科学的に解明することは歯周疾患の予防・治療が全身の健康に直接貢献できることを示すことになり、超高齢化社会を迎え、医療費の高騰が問題となっている日本の現状から見ても重要な問題であると考えられます。本講演では最初にどのようにしてペリオドンタルメディスンの研究に手を染めるようになったか、大学院や留学時代のエピソードを交えてお話しさせていただきたいと思います。その後、我々の研究データも参照しながら歯周疾患と冠動脈疾患の関連について概説したいと思います。

山崎 和久 教授 略歴

学 歴

- 1980年 3 月 神奈川歯科大学卒業
1985年 3 月 新潟大学大学院歯学研究科修了

職 歴

- 1985年 4 月 新潟大学歯学部附属病院助手（第二保存科）
1986年11月～1988年 5 月 クイーンズランド大学（オーストラリア）客員研究員
1988年10月 新潟大学歯学部附属病院講師（第二保存科）
1995年 9 月 ネブラスカ大学（アメリカ合衆国）客員教授
1999年 9 月 新潟大学歯学部助教授（歯科保存学第二講座）
2001年 4 月 新潟大学大学院医歯学総合研究科助教授(歯周病学分野)に配置換え
2004年 4 月 新潟大学教授（歯学部口腔生命福祉学科口腔衛生支援学講座）
2004年 9 月 南カリフォルニア大学（アメリカ合衆国）客員教授

免許および資格

- 1980年 5 月 歯科医籍登録（第79308号）
1993年 5 月 日本歯周病学会専門医（第312号）
1996年 3 月 日本歯周病学会指導医（第84号）
2001年 7 月 日本歯科保存学会認定医（第810号）

所属学会

日本歯周病学会、日本歯科保存学会、日本免疫学会、日本炎症再生医学会、
日本分子生物学会、日本歯科医学教育学会、新潟歯学会
International Association of Dental Research
Japanese Association of Dental Research

主な研究テーマ

歯周疾患における免疫機構の研究
歯周疾患の全身に及ぼす影響の研究
歯周組織の幹細胞に関する研究